

## 中学生に力を借りて・・・！あと一歩およばず！



	1	2	3	4	5	6	7	R
チームジェイ	1	2	2	1	0	0		6
せんがくず	0	0	2	0	3	0*		5

Batter	AB	H	BI	SB	HR
古橋	2	0	0	1	0
榎泉	4	0	1	0	0
小川	2	1	0	0	0
矢野	3	1	0	0	0
梅澤	3	1	2	0	0
吉越	3	0	0	0	0
渡辺(至)	1	0	0	0	0
泉	3	2	2	1	0
木部	3	0	0	0	0

Pitcher	IN	SO	H	BB	R
梅澤	3	5	3	1	3
渡辺(至)	3	1	1	1	1

### 一生懸命走る榎泉。完全復帰の道は険しい？

かつて好プレーの連続で会場を湧かす程の名手であった榎泉は、今季もその姿を見せる事はないのか？今日はひたすら走って得点に貢献。次回以降の好プレーに期待だ。



4回からリリーフした至。波に乗った打線の流れを盛り上げるかのような気迫あるピッチングで後半をおさえる！

### 泉が流れを変える一打！

### 小川2塁打！最後のチャンス！

### 最終回一打逆転のチャンス！



初の野毛町公園での試合。人数不足で大学生1名、中学生2名を助っ人に迎える。先発は梅澤。調子が良いと言ったものの、なかなか守備のリズムを作る事ができない。要所を三振でおさえていたが、肝心な所で長打をあびてしまい、前半5点を失う。流れが完全に相手に向いている中、一人躍動したのは助っ人泉。3回、先頭打者で右中間へヒットを打ち、盗塁も決める。その後、榎泉、梅澤の打点で2点を返し、流れは徐々にせんがくずへ傾いた。



4回からは至るがリリーフで登板。守備のリズムが良くなかったが、至の気迫あふれるピッチングで守備の雰囲気も良くなった。5回には、満塁で梅澤が犠牲フライ、泉がタイムリーツーベースを打ち、点差は1点まで縮まった。至は6回の2死満塁のピンチを無失点で切り抜け、最終回に望みをつないだ。榎泉を1塁に置き、小川が右中間をやぶるツーベース。時間もギリギリにせまる中、誰もがサヨナラ勝ちを期待する。頼れる手法矢野は不調でピッチャーゴロに倒れてしまう。望みは梅澤へ。最終回2死2、3塁、1打逆転という、野球人生最大のチャンスでもあった。



1球、2球と見慣れぬスライダーで見送り追い込まれる。「ストレートは打たれる気がした」と試合後に語った相手投手。完全に術中にはまってしまった。何度も首を振る投手。2ボール目のスライダーが外角に外れ、2ストライク3ボールからの6球目。外角低めいっぴいのスライダーで空振り三振。バットが届かなかった。打者は読みが必要である事。高校野球ぶりに思い出した。思いっきり踏み込むべきだった。。個人的な言い訳になってしまい申し訳ありません。